

# 郡山普及だより Yes! 農!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部  
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1  
TEL:024-935-1321 FAX:024-935-7030

## おめでとうございます。豊かなむらづくり顕彰事業受賞!! JA福島さくら郡山地区湖南夏秋とまと生産部会



郡山地区湖南夏秋とまと生産部会の皆様  
など、たゆまぬ努力で産地として発展しています。

また、ふくしま県GAP (FGAP) やエコファーマーを団体で取組み、部会内での現地指導会や視察研修会を実施し、ひとりひとりが自信と誇りをもって生産を行っていることが高く評価されました。

福島さくら農業協同組合郡山地区湖南夏秋とまと生産部会が令和2年度豊かなむらづくり顕彰事業の農業生産部門で表彰されました。

湖南夏秋とまと生産部会は、冷涼な気候を生かしたトマトの高品質栽培や産地にあった品種の導入による生産量の増加、産地パワーアップ事業等活用による共同選果施設の整備による省力化に努め、UターンやIターン者などの新規栽培者の参入による産地の維持拡大を図るなど、

### 新指導農業士、青年農業士の紹介

新指導農業士 いいだふみあき 飯田史顕さん



田植え終了後、育苗箱の前で

令和2年度の新しい県指導農業士に飯田史顕さんが認定されました。

飯田さんは、郡山市内の中心的な稲作地帯である安積町で大規模水稻経営を行い、主食用米及び飼料用米の栽培の他、地域の水稻育苗・作業受託を積極的に行っています。特別栽培米やブランド米『ASAKAMA1887』にも取り組んでいます。

また、青年農業士活動を15年間行い、郡山市の青年農業士会会長を務め、郡山地域の若い後継者・青年農業者をまとめてきました。さらに、地元中学校の職業体験を受入れ、食農教育の活動に携わってきました。今後は、県指導農業士として農業後継者の育成指導や農業短大生農家留学研修等の活動に協力いただく予定です。



栽培するミニシクラメンの前で

### 新青年農業士 橋本紀之さん

令和2年度新たに西田町の橋本紀之さんが福島県青年農業士に認定されました。

橋本さんが経営する(有)郡山園芸ナーセリーは、130a規模のミニシクラメンを中心とした多品目鉢花を生産しており、主に関東圏のホームセンターとの契約栽培にて販売を行っています。栽培技術については、豊明花きポットプランツコンテスト大賞を3年連続受賞するなど数々のコンテストで受賞をされており、全国的に高い評価を得ています。

今年度から早速、農業短期大学留学研修生や岩瀬農業高校インターンシップ生の受け入れ予定等、地域の農業振興に協力いただいております。今後も郡山市農業の中核となって活躍いただく予定です。

今年度から早速、農業短期大学留学研修生や岩瀬農業高校インターンシップ生の受け入れ予定等、地域の農業振興に協力いただいております。今後も郡山市農業の中核となって活躍いただく予定です。

## 特集：新規就農者向けサポート

### 新規就農者フォローアップ、今後の研修について

郡山市では、親元就農や新規参入等により毎年多くの農業者が就農し、地域の担い手として活躍している一方で、定着が難しい農業者もいました。

そこで、当部では、今年度、より多くの新規就農者がそれぞれの夢に向けひとつひとつ実現できるよう、特に就農から5年程度の新規就農者約50名を対象として、営農状況の確認、営農への相談対応等によるフォローアップを重点的に行うこととしています。



フォローアップの様子

また、新規就農者等を対象に、病虫害や経営管理の基礎知識、先進的な農業者との交流を図る研修会「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を6回に分けて開催予定です。10月には「農作業安全」、11月には「経営管理」のポイントについての研修を予定しております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。詳細は当部までご連絡ください。(Tel024-935-1321)

### 農業を始めたい方に～就農相談会開催のお知らせ

令和3年9月18日(土)10:30より福島県農業総合センター多目的ホールにおいて就農相談会「ふくしま・ど・真ん中就農促進フェア」を開催します。今回のフェアは県中地方が一体となり、新規参入者をはじめとする就農希望者を掘り起し、就農・定着を図る就農相談会を目指して、各市町村等による「就農支援・相談ブース」と求人を行っている農業法人や個人事業主による「求人募集ブース」の2種類、合計20ブースを設置し、相談に対応いたします。また、農業振興普及部では新規就農を希望する方からの就農相談を随時受付し、郡山市、関係団体と連携して支援しておりますので、就農相談を希望される方は当部までご連絡ください(Tel024-935-1310)。



昨年の就農相談会の様子

## 頑張る農業者



・小野寺淳さん(株式会社agrity代表取締役)  
(就農5年目 H29年～)

会社勤めをしながら実家の農業の手伝いをしていましたが、農業にやりがいを感じ就農しました。糖度の高いニンジンをはじめとした露地野菜栽培の他、ジュースやカット加工、自家製野菜を使ったレストランも経営し、3月には農福連携事業により加工施設も完成させました。F G A Pを取得したほかノウフクJASや有機JAS認証等、新たな目標実現のため奮闘中です!

ニンジンの収穫をする小野寺さん

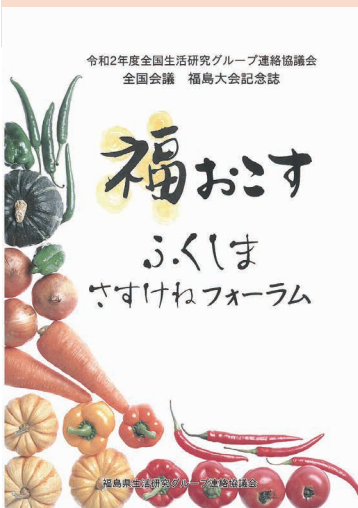
・松井弘信さん(就農5年目 H29年～)

会社を退職し、後継者として、経営にきゅうり栽培を新たに取り入れて就農しました。春から秋にかけてはきゅうりを、冬から春にかけてはコマツナを栽培しています。栽培技術の向上に熱心に取り組んでおり、特にきゅうりは、露地栽培が15t/10a、ハウス抑制栽培が20t/10aと、大変高い実績を上げています。地域の新規就農者として活躍中です!



きゅうりの管理をする松井さん

## 生研グループ全国大会冊子完成!



大会記念冊子の表紙

本来は令和2年11月5～6日に郡山市をメイン会場にして、全国生活研究グループ連絡協議会全国会議福島大会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染対策のため1年延期となりました。郡山生活研究グループ連絡協議会は大会資料作成の役割を担っていたため、大会冊子の制作は先行して実施して、県内生研グループの紹介などを掲載し、令和3年3月に完成させました。結局全国会議福島大会は新型コロナウイルスの感染状況から中止となりましたが、震災から復興した福島県の現在を伝えるという趣旨で、全国の大会参加予定者などへ配布されることとなりました。

農薬の適正使用に  
努めましょう!

残留農薬超過の原因が判明した事例の多くは、①使用基準違反、②防除器具の洗浄不足、③周辺からの飛散が原因です。  
農薬を使う際は、以下の点に注意しましょう。

農薬を使うときには	農薬を使った後には
<ul style="list-style-type: none"> <li>○農薬使用基準等の確認                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用作物、希釈倍数、使用量、使用時期、使用回数等を確認しましょう。</li> </ul> </li> <li>○農薬飛散の防止                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットや遮蔽作物の活用、噴霧圧の調整やドリフトの少ないノズルを使用しましょう。</li> <li>・風の少ない日・時間帯に散布しましょう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用した防除器具の洗浄                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用した農薬が残らないように、防除器具(ホース、噴口、タンク、ストレーナー等)を十分に洗浄しましょう。</li> </ul> </li> <li>○使用した農薬の記帳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用月日・希釈倍率・使用量等農薬の散布実績を正確に記録しましょう。</li> </ul> </li> </ul>

# 県中農林事務所からのお知らせ



## 収入保険、園芸施設共済に加入しませんか？

近年農業災害が増加しています。生産者の皆さん！何かあったときの備えはできていますか？「収入保険」、「園芸施設共済」の加入をお勧めします！詳しくはお近くの農業共済組合までお問い合わせください。

## 「郡山農研ネットワーク」のメンバー募集！

研修会の実施や各種の施策情報提供などを行っております。農業経営のスキルアップや交流の場として是非参加してみませんか？興味ございましたら、下記のアドレスまたは電話番号にご連絡ください。（担当：小松）

Email [shinkouhukyuu.af02@pref.fukushima.lg.jp](mailto:shinkouhukyuu.af02@pref.fukushima.lg.jp)

電話番号 024-935-1310

## 職員紹介

今年度農業振興普及部 26 名で活動していきます。よろしくお願ひいたします。



農業振興課



地域農業推進課



経営支援課

所属	職名	氏名	所属	職名	氏名	専門	
農業振興課	部長	古川 勝弘	地域農業推進課	課長	遠藤 亮子	畜産	■
	副部長	岩沢 正浩		主任主査	岡田 初彦	果樹	
	課長	黒津 賢治		主査	内田 研一	畜産	
	主任主査	角田 明子		主査	横尾 達也	作物	
	主査	鈴木 克典		■	副主査	長澤 梓	作物
	主査	吉田 美文	経営支援課	技師	小松 一樹	畜産	
	主査	山口 茜		課長	菊池 正	野菜特産	
	主査	武藤 景子		主任主査	高倉 麻紀	作物	
	主査	中澤 亮平		主査	原 有	野菜特産	■
	副主査	白川 美波 <sup>※</sup>		■	主査	早田 正子	野菜特産
技師	有我 桃子		主査	我孫子佳央里	果樹		
営農再開支援専門員	菅野 廣和		技師	大森 千明	果樹		
			専門員	佐久間光子	花き		
			専門員	増子 俊明	果樹		

※ 産休(7月～) 産休育休代替職員 山田 佳恵(8月～)

転任者 ■

まずはワンチェック(始業前点検)、ワンアクション(ベルト・ヘルメット着用)で農作業安全